

54

地域医療連携パス（5大がん）使用件数

自院

指標の意義

地域医療連携パスとは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等との間で、双方の役割分担や診療計画表（医療者用・患者用）を用いて、がん患者さんに対する一連の診療の流れを体系化したものをいいます。

当院では、5大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝臓がん）の地域連携パスを地域の医師会や連携医療機関と協議して策定しました。これにより、がん診療における地域医療連携を促進し、がん医療の質の保証と安全の確保を図る上での指標になります。

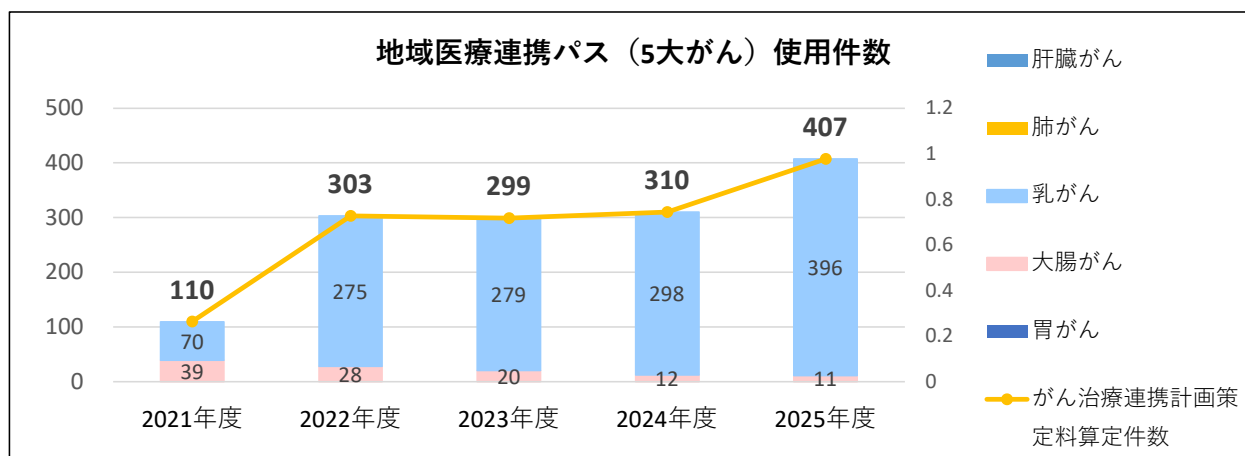
定義

5大がん（胃、大腸、乳、肺、肝臓）の術後患者に対し、「がん治療連携計画策定料」を算定した患者数

1年間に、後方連携（逆紹介）した医療機関/施設数

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	(単位：件)
胃がん	0	0	0	0	0	
大腸がん	39	28	20	12	11	
乳がん	70	275	279	298	396	
肺がん	0	0	0	0	0	
肝臓がん	0	0	0	0	0	
がん治療連携計画策定料算定件数	110	303	299	310	407	
医療連携機関/施設数	46	37	38	37	36	



指標実績の分析・評価

乳がんの地域医療連携パス使用件数が年々増加し、地域医療連携が定着してきていると考えます。一方で、乳がん以外の連携は停滞しているため、地域医療機関との協議を進めていきます。

55

医科歯科連携実施率

自院

指標の意義

がん治療（手術、化学療法、放射線療法等）の支持療法のうち、口腔機能改善は術後合併症予防や様々な併発症の予防に効果があります。治療前から、かかりつけ歯科医での口腔機能改善を積極的に推進する指標として、院外歯科診療所への紹介患者数の割合の推移をみるものです。

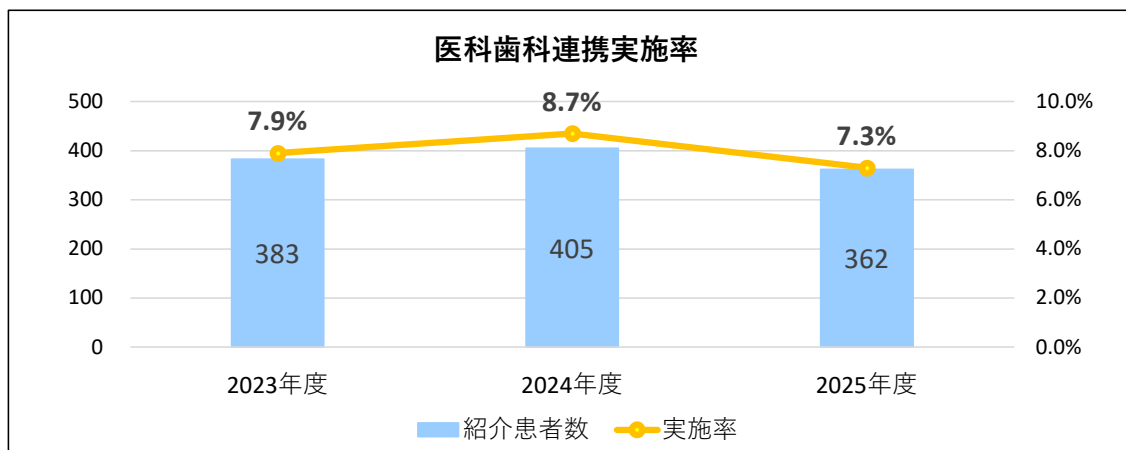
定義

分子 院外歯科診療所への紹介患者数（当院から院外の歯科診療所へ紹介状を発行した件数）

分母 初回入院患者数

当院の実績

	2023年度	2024年度	2025年度	
紹介患者数	383	405	362	(件)
初回入院患者数	4,835	4,836	4,944	(件)
実施率	7.9%	8.7%	7.3%	(%)



指標実績の分析・評価

医科歯科連携実施率は2024年度に上昇がみられたものの2025年度は低下していますが、引き続き、口腔ケアのスクリーニングを徹底し、医科歯科連携を進めていきます。

56

入退院支援実施率

自院

指標の意義

入退院支援加算は、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進した上で、入院早期より退院困難な要因を有する患者さんを抽出し入退院支援を実施するものです。

入院早期より院内外が多職種が協働して、患者さんの在宅療養に積極的に介入しているかを見る指標です。

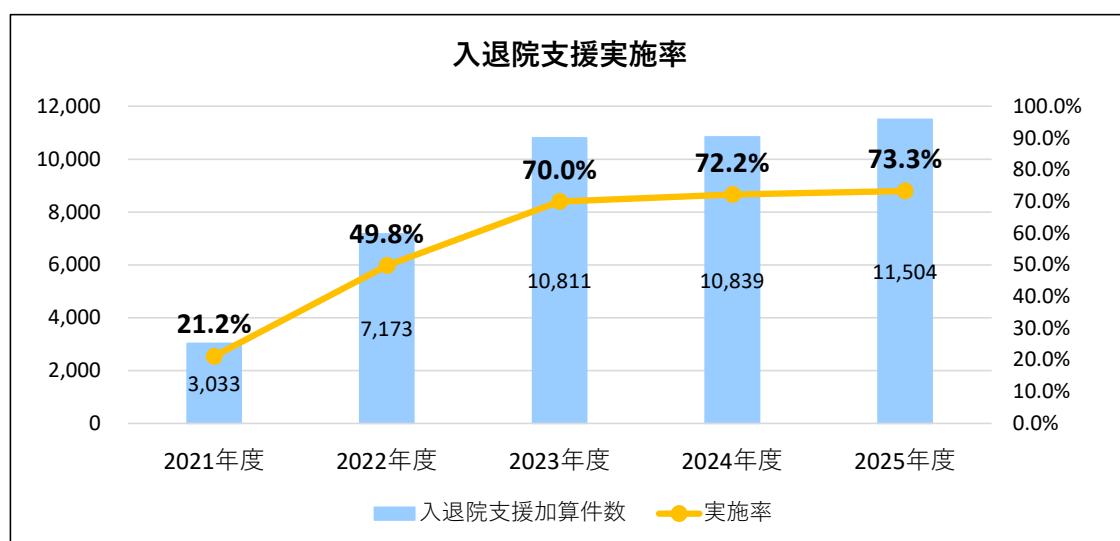
定義

分子 入退院支援加算件数×100

分母 退院患者数（死亡退院は含まない）

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
入退院支援加算件数	3,033	7,173	10,811	10,839	11,504	(件)
退院患者数	14,320	14,390	15,419	14,669	15,615	
実施率	21.2%	49.8%	70.0%	72.2%	73.3%	(%)



指標実績の分析・評価

2023年以降は入退院支援割合が70%台で安定してきています。今後は、独居や家族と疎遠になっている患者の入退院支援の増加が見込まれることから、初診問診室と共同してハイリスク患者の早期介入に力を入れていきます。